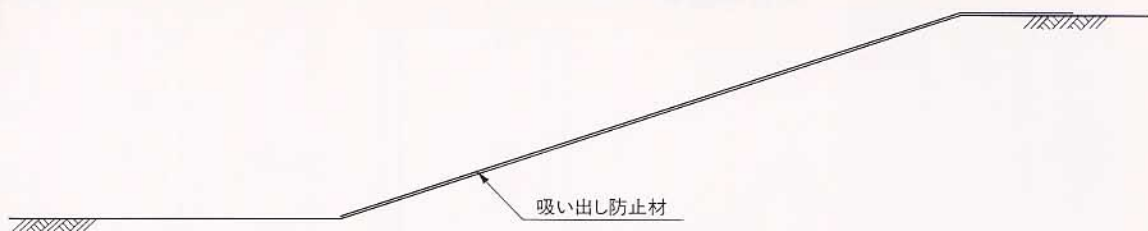
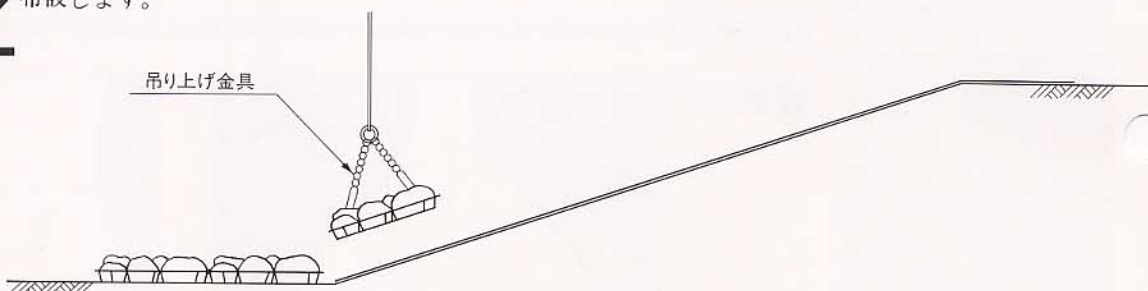


■ 施工要領

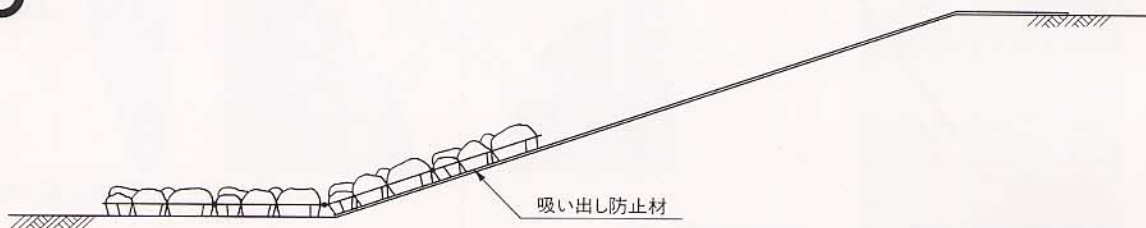
- 1 法面を所定の勾配に整地します。
また、必要に応じて吸い出し防止材あるいは裏込材を施工します。



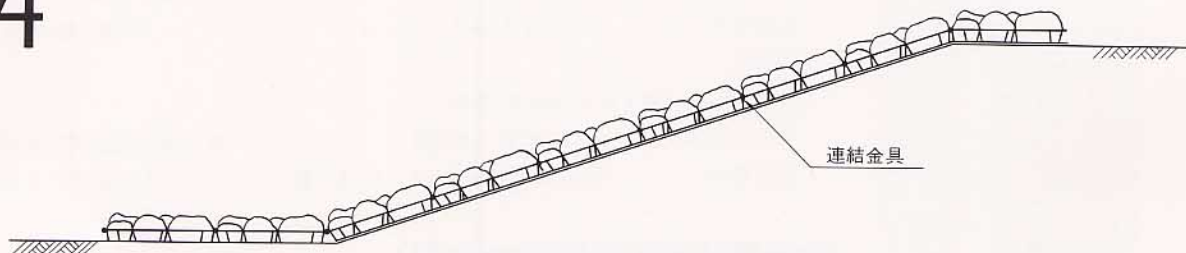
- 2 吊り上げ金具をブロックに装着し、クレーンによりブロックを法勾配に合わせて吊り上げ、布設します。



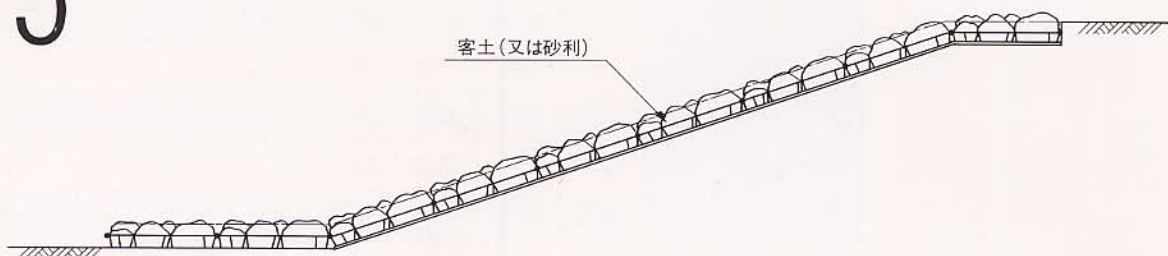
- 3 同様の作業を順次くり返し行います。



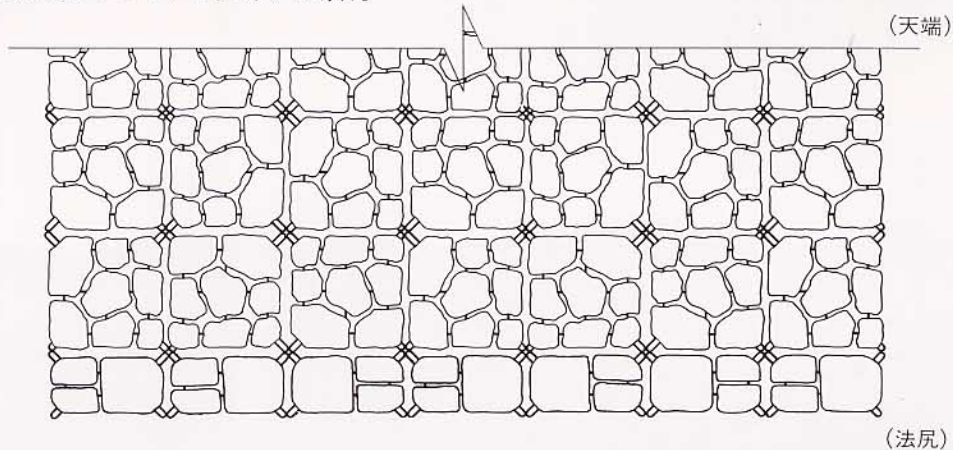
- 4 ブロックを所定数配列後、相互のブロックを連結金具で連結します。



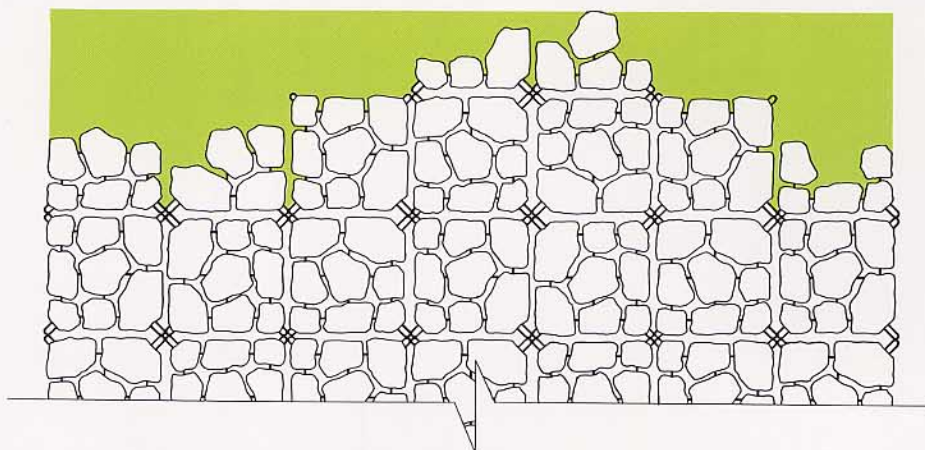
- 5 必要に応じて、ブロック空隙部に客土あるいは砂利等を充填します。



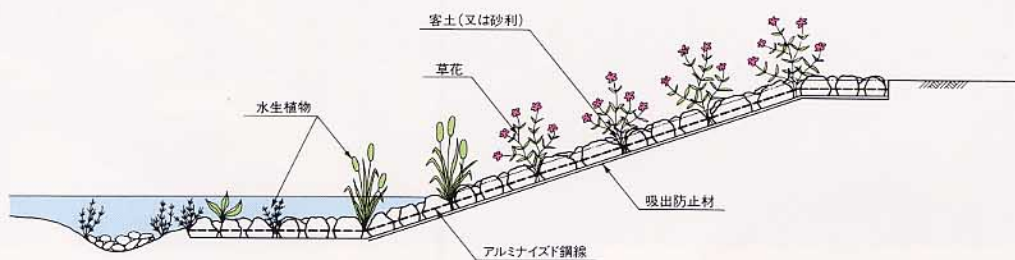
1 法長調整用B形ブロックを使用する場合。



2 護岸の天端はV字型の窪みを周期的に配列し、植栽の緑でやわらげて護岸の輪郭線をあいまいにぼかす施工例。



3 法面から河床部にかけて、連続して布設する事により法面をより自然に近い状態にする事ができます。



4 数段積重ねることによって、魚介類・水生昆虫の生息場所を提供し動植物にやさしい水辺空間をつくり出します。

